

ふじのくにエコチャレンジ実行委員会 設立趣意書

日本では 2009 年度、産業部門をはじめとする各部門の二酸化炭素排出量が減少したことなどにより総排出量が基準年より 4.1%減少したものの、依然として家庭部門では 26.9%、業務の部門では 31.2%増加、また静岡県でも家庭部門で 20.4%、業務部門で 13.7%増加しています(※2)。この現実を私たち国民・県民一人ひとりが認識し、日常生活の中で温暖化防止のためのアクションをおこすことが、極めて重要です。

また、近年世界各地で頻繁に起きる記録的大雨や猛暑などにより、気候の変化がより身近に感じられるようになってきており、深刻化する地球温暖化を食い止めるため、本年3月、静岡県はストップ温暖化しずおか行動計画(2006～2010)を改定し、新たに「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」を策定しました。この計画では、2020年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量を25%削減(基準年度比※1)することを目標に掲げ、この目標を達成するために「県民運動」として「ふじのくにエコチャレンジ」を展開していくことを提起しています。

私たちは、県民一人ひとりが地球温暖化防止に向けた行動を起こすことをサポートするために「ふじのくにエコチャレンジ」ACTION・BANK事業を実施すべく、実行委員会を結成します。ACTION事業では、県民が温暖化防止のためのアクションに参加しやすい「仕組み」や「場」をつくると共に様々なアクションを広くPRすることによって、またBANK事業では、各家庭のエネルギー使用量と省エネ生活による使用量削減効果を可視化することによって、県民の興味・関心を継続的に喚起し、地球温暖化防止活動に向けた「雰囲気」を県下に創出していきます。

この運動の主役は、あくまでも県民の皆様です。実行委員会では、この県民運動に参加して下さるご家庭・グループなどを広く募集します。魅力的でユニークなアクションを実施してください。私たちは、県民の皆様のアクションを様々な形でサポートいたします。

3月11日に発生した東日本大震災による電力需給の逼迫を背景として、節電・省エネ意識が全国的に高まりをみせています。その中でこの県民運動は、今後私たちのライフスタイルを見直すきっかけとなるよう、また低炭素社会の実現に向けて長く実施、進化・成長させていくべきものと考えております。今年はキック・オフの年です。多くの県民の皆様がこの県民運動にご参加くださるよう、心より願っております。

平成23年5月31日
ふじのくにエコチャレンジ実行委員会

※1 基準年度は、二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素の排出量については1990年度。HFC等3ガスについては1995年度。
※2 温室効果ガス排出量は、全国で基準年度比4.1%減(2009年度確定値)。静岡県で約10.8%減(2009年度速報値)。